



平成 29 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 富士ソフトサービスビューロ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 諭  
(コード番号：6188 東証 J A S D A Q)  
問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 小木曾 雅浩  
(TEL. 03-5600-1731)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日付けの「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました、平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の業績予想値を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成30年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,338	40	40	29	12.89
今回修正予想 (B)	4,616	129	130	90	40.29
増減額 (B - A)	278	89	90	61	—
増減率 (%)	6.4	222.5	225.0	210.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	3,709	30	30	20	9.07

#### 2. 平成30年3月期 通期業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,400	290	290	210	93.24
今回修正予想 (B)	9,700	330	330	240	106.67
増減額 (B - A)	300	40	40	30	—
増減率 (%)	3.1	13.7	13.7	14.2	—
(ご参考)前期通期実績 (平成29年3月期)	8,546	270	284	209	93.18

### 3. 修正の理由

#### 【第2四半期累計期間業績予想値の修正】

当社では、「特化型コールセンターを中心としたBPO業務の積極展開」を課題に、「年金相談及び年金事務業務」、「ITヘルプデスク」、「金融系オフィスサービス」を成長の3本柱としてサービスの拡大を図ってまいりました。

売上高につきましては、コールセンターサービス分野、BPOサービス分野ともに官公庁向けの案件が拡大したこと、一部案件において前倒し受注があったことにより好調に推移いたしました。

利益につきましては、売上高の拡大に加え、新規受注案件にかかる先行投資費用が想定内に収まったことにより、いずれも当初業績予想値を上回る見込みとなりました。

これらの理由に基づき、第2四半期累計期間の業績予想値を上方修正いたします。

#### 【通期累計期間業績予想値の修正】

通期累計期間における売上高につきましては、第3四半期会計期間以降も堅調に推移するものと見込んでおり、上期増額分を勘案し前回発表予想値を3億円上回る9,700百万円となる見通しです。

利益につきましては、第3四半期会計期間以降も堅調に推移するものと見込んでおりますが、新規案件稼働に伴い、人件費の高騰や採用難、価格競争激化等の情勢リスクを勘案した結果、上期増額分までは見込めないものの、営業利益は前回発表予想値を40百万円上回る330百万円、経常利益は40百万円上回る330百万円、当期純利益は30百万円上回る240百万円と、いずれも前回発表予想値を上回る見通しです。

当社では、今後とも大型案件で培ってきたノウハウを活かし、「専門性」「品質」に重点を置いた「特化型コールセンターを中心としたBPOサービス」を積極展開し、売上基盤の拡大を図るとともに、効率的な業務運営を推進し、中長期的に安定した経営基盤を構築してまいります。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上